

貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 (独)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成27年9月1～2日観測結果

8月24日～9月1日に湾奥～市原にかけて青潮が発生したことにより、貧酸素水塊の分布域及び規模は縮小しました(図1、2、3)。ただ、局所的には溶存酸素量が1.0ml/L以下の水塊も見られており、また、湾奥の一部は赤潮状態となっていることから、今後再び貧酸素水塊の分布域が拡大する可能性があります。
 (青潮に関しては千葉県水質保全課からの情報を引用しています)

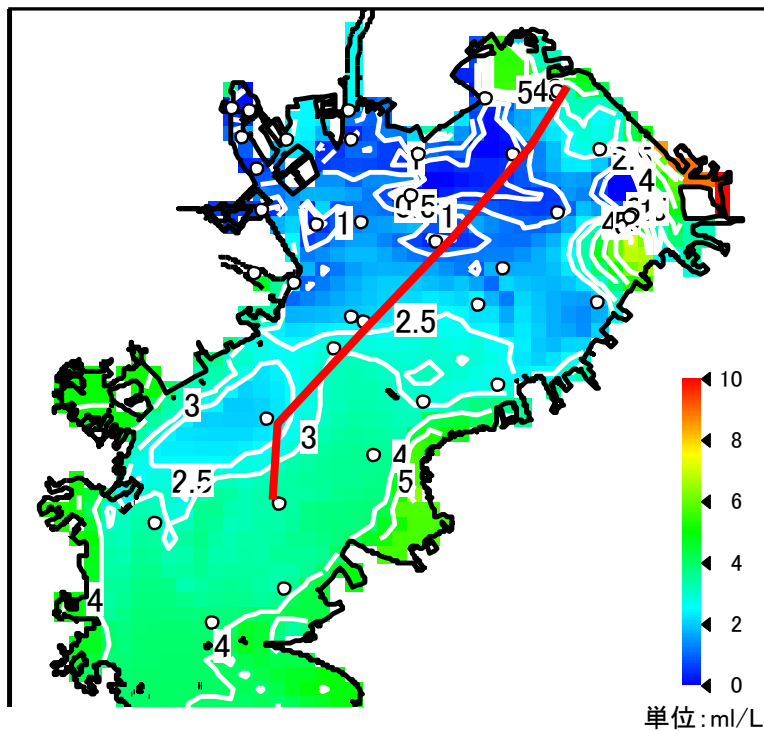


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

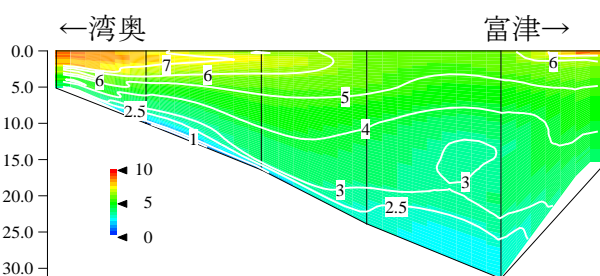


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

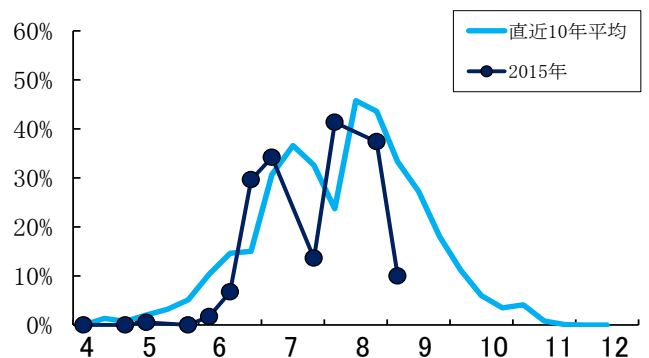


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)